



火災予防ニュース

第18号 令和2年9月4日 苫小牧市消防本部予防室発行

死亡火災発生！

8月18日夜、苫小牧市の住宅で火災が発生し、1名が亡くなりました。昨年は市内での火災による死者は“ゼロ”であったにも関わらず、残念なことに、今年には既に、6名もの命が火災により奪われてしまっております。予測の難しい地震等の天災に比べ、火災は日頃の心掛け次第で防ぐことや、被害を最小限に留めることができます。自分と家族の大切な命を守るために、日頃から火災の発生には十分注意していただくとともに、万一、火災発生時に現場に居合わせてしまった場合の対応についても確認しましょう。

～火災発生時の対応法～

① 周囲に知らせる

大きな声で「**火事だー！！**」と叫び、危険を知らせましょう。

② 通報する

小さな火災であっても **119番通報** をしてください。

初期消火で通報できない場合は周りの人に頼みましょう。

③ 初期消火する

火が天井に達するまでが一般的な初期消火の限界です。

無理をせず、危険を感じた際は避難してください。

生死の境目！



天井に火が届いたら・・・？

④ すぐさま避難する

服装等にこだわらず、すぐに避難してください。

一度、避難したら決して建物内に戻らないでください。

住宅用火災警報器は正常に作動していますか？

- 住宅用火災警報器は設置から10年が使用期限の目安になります。
- 定期的に作動確認を行い異常の有無を確認してください。
- 電池切れや故障の場合はすぐに新品に交換してください。



夏場の火災にご用心！！

屋外で火を扱うことが多くなる季節となりましたが、少しの不注意や油断から火災は発生してしまいます。いま一度、火の取扱い方を見直してみませんか？

また、夏場は開放的な気分につられ“放火”が発生する可能性も高まります。放火されない環境作りを徹底し、火災を未然に防ぎましょう！！



【花火】

- ・風の強い日は控えるなど気象条件を考慮する。
- ・取扱説明書を読み、注意事項を守って遊ぶ。
- ・燃えやすいものがある場所ではなく、広くて安全な場所を選ぶ。
- ・水の入ったバケツを用意し、残り火を消火する。
- ・子どもだけの花火は行わない。

【バーベキュー】

- ・火の粉が飛び、周りのものに火がつく可能性があるため、風向きに注意する。
- ・着火剤の追加投入はしない。
- ・使用した炭は水の中に長時間浸け、完全に消火する。
- ・バーベキューコンロの近くで殺虫スプレーや日焼け止めスプレーを使用しない。



【放火】

- ・建物の周りに燃えやすいものを置かない。
- ・ごみは収集日の朝、決められた場所に出す。
- ・外灯などをつけ、家の周りを明るくする。
- ・物置や倉庫には、施錠をする。
- ・郵便受けの新聞等は早めに取り込む。

～2020 とまこまい消防フェスティバル 中止のお知らせ～

新型コロナウイルス感染症防止のため、
2020 とまこまい消防フェスティバルは中止となりました。

